

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	吉川福祉専門学校
設置者名	学校法人ワタナベ学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	介護福祉科 (令和4年度入学生)	夜・通信	180 時間	160 時間	
専門課程	介護福祉科 (令和5年度入学生)	夜・通信	180 時間	160 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.yoshikawa-fukushi.ac.jp/about/data.html

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	吉川福祉専門学校
設置者名	学校法人ワタナベ学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.yoshikawa-fukushi.ac.jp/about/data.html

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	一般社団法人 事務局長	R5.4.1 ～ R8.3.31	専門的な実務経験から、法人のコンプライアンス強化に多様な意見を求める。
非常勤	私立大学 教授	R5.4.1 ～ R8.3.31	法の遵守を基本に経営機能の強化に多様な意見を求める。
非常勤	私立大学 教授	R5.4.1 ～ R8.3.31	専門的な実務経験から、幼児教育の強化に多様な意見を求める。
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	吉川福祉専門学校
設置者名	学校法人ワタナベ学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
授業計画書(シラバス)については、次年度の授業担当者が決定する2月初旬に作成依頼を行い、新年度の4月1日を目途に完成させオリエンテーション時に学生への周知と公表を行う。 なお、一般への対応は、オリエンテーションと同時期に公表を行う。 また、介護福祉士養成施設の指定基準に定める教育内容等を踏まえて、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準、その他の事項を授業科目毎に授業科目担当者が作成したうえで、教員会(兼任授業科目担当者を含む)を経て決定する。 なお、本校が設置する「教育課程編成委員会」において授業計画書の精査と委員からの意見を聴取することにより、授業計画書作成に反映すると共に学則変更の申請及び届出に寄与している。	
授業計画書の公表方法	https://www.yoshikawa-fukushi.ac.jp/about/data.html
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
教科目概要(シラバス)に記載された評価内容・方法のとおり、各授業科目の学修成果の評価を行い、これに基づき、履修認定をする。 評価基準は、S・A・B・C・Dの5段階に分け、90点以上をS、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、60点未満をDとし、C以上を合格とする。 認定に必要な出席時間数は、学則に定める授業科目毎に授業時間数の3分の2以上とする。 ただし、介護実習については、授業時間数の5分の4以上とする。 なお、学生には、あらかじめ成績評価の基準を学生ハンドブックによって示している。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) ・ 本校ではG P A制度を導入していないが、次のように算出方法を定め実施している。 ・ 履修科目の評価点(100点満点)に当該科目の授業時間数を掛けて合計した数値を、履修科目の総授業時間数で割り平均値を算出。 ■ G P A等の客観的な指標の算出方法 $\frac{(\text{履修科目の評価点} \times \text{その科目の授業時間数}) \text{の合計}}{\text{履修科目の総授業時間数}}$ ・ 客観的な指標の数値により学年別に成績分布状況を把握し、授業の方法及び内容に役立てる。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.yoshikawa-fukushi.ac.jp/about/data.html
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) ・ ディプロマポリシー 次の学生像を介護福祉士育成の方針とする。 (1) 高度な専門知識、実践の根本となる理論を身につけている。 (2) 対象者本位のより良い生活支援(自立支援)を対象者の状況をしっかりと見極めて、適切に提供できる。 (3) 人間を深く理解した上で、対象者の尊厳を重んじることができる。 本校学則に定める第13条別表1の教育課程を全て履修し、当該科目の試験(論文等を含む)の成績、平素の学習状況及び出席状況を総合評価して合格した者に対し、学則第18条第3項に従い教員会の議を経て卒業(課程修了)の認定を行っている。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.yoshikawa-fukushi.ac.jp/about/data.html

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	吉川福祉専門学校
設置者名	学校法人ワタナベ学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.yoshikawa-fukushi.ac.jp/about/data.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.yoshikawa-fukushi.ac.jp/about/data.html
財産目録	https://www.yoshikawa-fukushi.ac.jp/about/data.html
事業報告書	https://www.yoshikawa-fukushi.ac.jp/about/data.html
監事による監査報告（書）	https://www.yoshikawa-fukushi.ac.jp/about/data.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
教育・社会福祉		専門課程	介護福祉科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	2024 単位時間	638 単位時間	930 単位時間	456 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	
			2024 単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
8 0 人		6 2 人	1 人	4 人	1 3 人		1 7 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画書（シラバス）については、次年度の授業担当者が決定する2月初旬に作成依頼を行い、新年度の4月1日を目途に完成させオリエンテーション時に学生への周知と公表を行う。 なお、一般への対応は、オリエンテーションと同時期に公表を行う。 また、介護福祉士養成施設の指定基準に定める教育内容等を踏まえて、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準、その他の事項を授業科目毎に授業科目担当者が作成したうえで、教員会（兼任授業科目担当者を含む）を経て決定する。 なお、本校が設置する「教育課程編成委員会」において授業計画書の精

査と委員からの意見を聴取することにより、授業計画書作成に反映すると共に学則変更の申請及び届出に寄与している。
成績評価の基準・方法
(概要) 教科目概要（シラバス）に記載された評価内容・方法のとおり、各授業科目の学修成果の評価を行い、これに基づき、履修認定をする。 評価基準は、S・A・B・C・Dの5段階に分け、90点以上をS、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、60点未満をDとし、C以上を合格とする。 認定に必要な出席時間数は、学則に定める授業科目毎に授業時間数の3分の2以上とする。 ただし、介護実習については、授業時間数の5分の4以上とする。 なお、学生には、あらかじめ成績評価の基準を学生ハンドブックによって示している。
卒業・進級の認定基準
(概要) ・ディプロマポリシー 次の学生像を介護福祉士育成の方針とする。 (1) 高度な専門知識、実践の根本となる理論を身につけている。 (2) 対象者本位のより良い生活支援（自立支援）を対象者の状況をしっかりと見極めて、適切に提供できる。 (3) 人間を深く理解した上で、対象者の尊厳を重んじることができる。 本校学則に定める第13条別表1の教育課程を全て履修し、当該科目の試験（論文等を含む）の成績、平素の学習状況及び出席状況を総合評価して合格した者に対し、学則第18条第3項に従い教員会の議を経て卒業（課程修了）の認定を行っている。
学修支援等
(概要) 正課外学修支援として国家試験対策講座を、1年生は年間15回程度、2年生は年間30回程度開講している。 また、留学生に対して週2時限（90分）の日本語教育を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
32人 (100%)	0人 (0%)	32人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 介護老人福祉施設、介護老人保健施設、居宅サービス関連事業所、医療機関等			
（就職指導内容） 2年生を対象に合同就職説明会を実施している。また、2年生には個別面談等を通じ、早い時期から就職活動を促している。10月以降、未内定者に対して、担任および事務担当者による3者面談を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） アクティビティ・ワーカー資格5名取得（令和4年度実績）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
66人	5人	7.6%
（中途退学の主な理由） 進路変更、家庭の事情による。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生支援の一つとして、担任による個別面談を実施している。また、欠席の多い学生やその他問題を抱える学生の情報を全教職員で共有し、保護者等への連絡も行っている。中途退学者防止のため、当該学生の早期発見・早期指導、学習面や心理面、経済面での支援にも努めている。		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
介護福祉科	150,000 円	600,000 円	320,000 円	【その他の費目】 施設設備費 210,000 円 実習費 110,000 円
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.yoshikawa-fukushi.ac.jp/about/data.html
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）
・基本方針 本校では、学校運営に必要とされる各種委員会の位置付けについて学則に規定するとともに、学校関係者評価委員会規程を規定している。本校と密接に関係する委員で構成される委員会において、本校が実施する自己評価項目及び評価結果に対する評価並びに施設見学及び授業参観を参考とした提言・助言により、自己評価結果の客観性・透明性を高め、本校に対する理解促進や連携協力の強化を図る。委員会で審議された指摘事項等は、教育活動その他の学校運営の改善に活かすものとする。 ・主な評価項目 ①教育理念・目的・育成人材像 ②学校運営 ③教育活動 ④学習成果⑤学生支援 ⑥教育環境 ⑦学生の募集と受入れ ⑧財務 ⑨法令等の遵守 ⑩社会貢献・地域貢献 ・評価委員会の構成 委員の人数 5名 選出区分 (1) 専門分野における業界関係者 (2) 卒業生 (3) 保護者または地域住民 (4) 中学校及び高等学校の校長または進路指導担当者 (5) その他校長が必要と認める者 ・評価結果の活用方法 学校関係者評価結果を踏まえて、学校関係者委員と本校教職員とが課題を共有しHPに公表する。さらに、教職員会議で検討、協議を行い、校長が決裁し改善できるものから随時実施改善する。年度末に次年度へ課題の改善

点をまとめ、年度当初時に校長より学校の目標や日々の指導について、学校運営に活用し改善を図り随時推進している。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
社会福祉法人陽光会 グループホーム・小規模多機能型居宅介護サ ンパティオ 施設長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	業界関係 者
社会福祉法人平成会 特別養護老人ホーム吉川平成園 事務課長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	業界関係 者
社会福祉法人名栗園 ケアセンター岩槻名栗園 副施設長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	業界関係 者
介護福祉科卒業生 社会福祉法人貴親会 憩いの里介護職員	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	卒業生
埼玉県立三郷高等学校 校長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	高等学校 校長
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.yoshikawa-fukushi.ac.jp/about/data.html		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.yoshikawa-fukushi.ac.jp/about/data.html
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H111324300019
学校名	吉川福祉専門学校
設置者名	学校法人ワタナベ学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		－	－	－
内 訳	第Ⅰ区分	－	－	
	第Ⅱ区分	－	－	
	第Ⅲ区分	－	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				－
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（1）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

（2）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下）		0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況		0人	0人
「警告」の区分に連続して該当		0人	0人
計		0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（2）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間		前半期	0人	後半期	0人

（3）退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)		0人	0人
GPA等が下位4分の1		0人	-
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況		0人	-
計		0人	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。